



あいさつする近藤本部長

## 事業性 地域社会に貢献を

### 日本技術士会中国本部が総会

(公社)日本技術士会中国本部(近藤英樹本部長)は26日、広島市南区の広島グランドインテリジェントホテルで平成24年度通常総会を開き、上程された平成24年度事業計画などを全会一致で承認可決した。

冒頭、挨拶に立った近藤本部長は「23年度は、公益法人化に伴って官公庁や他団体から共同事業への参画や技術顧問のような役割の打診が増えた。また、CPDの認定に対してもオンラインが容易になりつつある」など

と近況報告した上で、「公益法人認定により、これまで以上に社会の発展に寄与することが求められている。中でも地域社会への貢献は非常に重要な部分を占める。地域の課題に的確に対応し続けていくためには、事業活動のさらなる活性化

は不可欠である」などと述べ、中国本部の活性化に対してより一層の支援と協力を呼びかけた。

このあと、近藤本部長を議長に、上程された平成23年度事業報告ならびに収支決算報告、24年度事業計画及び収支予算案などを審議。いずれも全会一致で承認可決された。24年度事業計画では、技術士の資質向上、社会貢献活動の推進、地域に密着した活動などを積極的に展開していくことを申し合わせた。

また、総会終了後、今回は初の試みとして平成23年度技術士第二次試験合格者祝賀会が併催された。近藤本部長がお祝いの言葉を述べたほか、近畿大学工学部知能機械工学科教授・工学部長の京極秀樹氏による「大学が考える技術者像」をテーマとした記念講演なども行われた。